

■事業所・サービス紹介

友朋会では、理念「健やかでその人らしい生活の創造」のもと、利用者の皆様、ご家族、地域へ障がい福祉サービスを通じて寄り添い、貢献していきたいと考えています。この理念を達成する為、当法人では「コンプライアンス（法律順守）の徹底」、「人権の尊重」、「家族・社会との連携」、「地域移行の推進」の4つの運営方針を定め、日々の支援に取り組んでいます。



障がい者支援施設サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・施設入所
 - ・生活介護
 - ・短期入所
 - ・日中一時支援



サニーサイドワークセンター

- 【提供サービス】
- ・就労継続支援B型
 - ・計画相談支援
 - ・障害児相談支援



アトリエSUN

- 【提供サービス】
- ・生活介護
- 障がい者支援施設サニーサイドの別館となります。アール・ブリュット活動やはたらく生活介護等、新たな活動の場となっています。



共同生活援助事業所
サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・共同生活援助
- 男性棟2棟、女性棟2棟



■地域公益事業・・・友朋会では、以下の地域における公益的な取り組みを展開しています。

- ・生計困難者レスキュー事業
- ・サニーサイド地域福祉相談室
- ・一人住まいの高齢者訪問事業

社会福祉法人友朋会
障がい者支援施設サニーサイド

〒861-1213
 熊本県菊池市泗水町南田島1791-1
 TEL 0968-38-4448
 FAX 0968-38-2850
 MAIL info@sunny-side.or.jp
 URL https://sunny-side.or.jp



ホームページ

haleta -ハレタ-

2022年10月1日
 社会福祉法人 友朋会
 障がい者支援施設
 サニーサイド

Vol.11



〈綺麗な施設を維持するために〉
 5S活動と環境整備について

〈その人らしい生活を目指して〉
 支援事例紹介

〈ソーシャルワーク実習〉
 熊本学園大学より実習生の受け入れ

〈その他〉
 新任職員インタビュー



施設長挨拶

ほんの少し秋を感じ始めましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、熊本県における新型コロナウイルス感染者の累計が30万人を超えました。熊本県の総人口は172万人ほどですので、約5.7人に1名が感染したことになります。

サニーサイドでも累計職員5名とその家族が感染しましたが、利用者の皆様への感染は水際で食い止められているところ です。

現在は大変ありがたいことに、全職員が熊本県の感染対策制度を利用して毎週2回の抗原検査を行っています。この制度は令和4年の2月からスタートし、当初は週に1回の検査でしたが、6月からの感染拡大にともない週2回に強化されました。

サニーサイドだけでも今までにのべ1800回ほどの抗原検査を実施して、陽性反応は3回のみ。0.2%弱の陽性率となっており、職員全員が一致団結して感染防止を行っている状況が数値でも明らかです。もう2年以上も意識を高く持ち、感染予防に対応している職員には頭が下がる思いです。

私たちは、抗原検査の実施以外にも様々な防止策を行ってきましたが、今更ながらコロナ対策は「この対策を行えば大丈夫」や「この対応で〇割程度の予防効果がある」といったものがあるわけではなく、小さい効果の予防策を積み上げて、かつ継続していくことで予防ができていけると感じます。

第7波では、複数の都道府県が同時に過去最高感染者数を更新するなど爆発的な感染と混乱をもたらしました。しかしその一方で、重症化率や死亡率の低下等も事実として認識されていく中で世間ではウィズコロナへの転換が足早に進んでいます。

しかし、それに合わせて警戒を緩ませることは現時点では時期尚早だと思っています。利用者ご家族の皆様にも様々なご意見があるかとは思いますが、利用者の皆様の安心・安全と福祉と社会活動のバランスを取りながら慎重に進んでいきますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

(施設長 宮崎 剛大)



勤務前に抗原検査を受ける様子。陰性を確認してから施設内に入る様になっています

5S活動について

5Sとは、整理、整頓、清掃、清潔、躰・習慣のことです。5Sは職場の環境改善のために組織全体で取り組むことで業務の効率化、ミスや事故防止に繋がるものです。サニーサイドでも、昨年より5S活動委員会を設置し、月に2回施設内の整理、整頓等の確認を行っています。当初は不要な物が置いてある、物の置き場所が決まっていなかった、利用者の居室の整頓が不十分など改善点が多くありましたが、徐々に改善の必要な箇所が少なくなり職員の意識の変化が実感できました。今後も利用者が安全で清潔な空間で生活でき、職員も仕事がしやすい環境作りを行っていきたく思います。

(係長 前田 奈緒美)

5Sチェックを行って良くなった点や改善された点を教えてください！

5S活動を始めて、職員の意識も少しずつ変化し、日頃から整理整頓を意識するようになりました。以前は支援室やリネン室など共同で使用する場所に段ボールや使用していない物が置いてあることが見られました。しかし、現在は綺麗に整理され、不要なものなどが置いてあることはほとんど見られなくなりました。また、利用者の方の居室の整理や清潔を維持することにも繋がっており、安全で快適に過ごすための支援の向上にも役立っています。

(係長 永田 精一郎)



環境整備報告

グループホーム改修工事 & 本体施設開錠システム導入

利用者の皆さんが“自分らしく”過ごせるようにサニーサイドでは支援はもちろん環境整備の面でもサポートしています。2022年度上期は7月にグループホームのばら、さくらの外壁塗装工事を実施しています。早いもので2棟のグループホームは建設から13年が経過しています。サニーサイドでは施設全体の環境整備の計画を立て、今回の工事を実施することになりました。塗装工事を実施することで、美観の保持とともに断熱・遮熱性等も向上します。これまで同様に過ごしやすい住まいの場を提供していきます。

また、8月には障がい者支援施設サニーサイドの玄関に静脈認証の施設開錠システムを導入しています。登録された職員のみが施設開錠することができます。これにより、防犯機能の強化に繋がっています。これからも利用者の皆さんが安心安全に過ごすことができるよう努めてまいります。

(係長 河野 敏道)



広報誌の発行される頃には塗装工事も完了し、綺麗な外観を見ることが出来ます。 来所時にはインターフォンでお呼び頂くと職員がご対応いたします。

グループホーム自治会運営

①グループホームの自治会運営について

グループホームの利用者11名が参加しています。現在4名の利用者が利用者代表として、2名一組の1ヶ月交代で司会、書記を担当しています。代表者は、担当職員と自治会で話し合う内容を事前に協議、打ち合わせをします。

司会は自治会の司会進行を行い、書記は余暇活動の希望や、間食の希望等を聞いた際に、挙手した利用者の名前カードをホワイトボードに貼る仕事をしています。

②利用者の方の変化

以前の自治会は職員が司会進行を行っており、利用者の方は受け身でしたが、自分たちで司会や書記を行うことで、GHやワークセンターでの事を自分たちで考え、提案する気持ちが生まれてきました。現在では、担当月の代表者は自治会で話し合いたいこと、報告したいことを事前に考えるようになりました。

③実際に決定したこと

コロナ禍で映画館に行くことが出来ないため、代表者数名からワークセンターでスクリーンを使用した映画鑑賞会が出来ないだろうか？と提案がありました。この提案を実現するためにはどのような事が必要かを職員と一緒に考え、提案書を作成しました。現在アマゾンプライムビデオを活用し余暇活動として映画鑑賞会を実施しています。

④今後の展開等

現在代表者は4名ですが、新規利用者が2名入ったこともあり、さらに自治会運営にかかわれる利用者を増やして、自治会の活性化につなげていきたいです。

(主任 渡辺 真由美)



自治会の様子



年末に実施した映画鑑賞会の様子

支援事例紹介 ~その人らしい生活を目指して~

●Aさんについて

Aさんは、入所後は食事や入浴以外、1日の大半をお部屋でテレビを観たり、ベッドに横になって過ごし、日中活動に参加することが難しい状況でした。

私が担任となった当初も、状況は変わらず、日中活動の場所へ行って活動に参加することは難しい状況でしたが、以前から塗り絵をされていたことをAさんの「強み」として捉え、「お部屋でも構わないので塗り絵をしましょう」と、まずは活動に取り組みことから促しました。紙と色鉛筆を渡しても受け取られず、「代わりに塗るので、どの色がいいですか？」と尋ねながら、まずはAさんに少しでも関わってもらうことを大事にしました。自分が決めた色で塗り絵が完成することで、しだいに「自分で塗ること」に意欲的になり、今では、毎日、日中活動の場所へ自ら行き、主体的に自分で決めた色を自分で塗って作品を完成させています。

今後は、もっとAさんの「強み」を発揮する機会が増えていけるように、作品をご家族に渡すことや、展示会への応募を考えています。

(主任 川野 亮人)



●Bさんについて

Bさんは毎月楽しみにしていた帰省が、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっています。それが一つの原因なのか夜間眠ることができなくなったり、日中廊下を走ったりと、寂しそうにされているような印象を受けました。そこで、居室でも楽しめる余暇を提供しようと思いました。Bさんは几帳面で、細かい作業を好まれていたので「パズルはどうだろうか？」とまずは30ピース程度の簡単なものから提供を始めました。すぐにパズルが出来ようになり、余暇時間はパズルに取り組むというご本人様のルーティーンができたことで、落ち着いて過ごせるようになってきました。それから、50ピース、70ピース、108ピースのもの時間をかけて少しずつ難しいパズルにレベルアップしていきました。500ピースのパズルを余暇時間に1ヶ月かけて完成させ、ご本人様が嬉しそうに居室に飾っているのを見た際は、私まで嬉しくなりました。Bさんは手先が器用で手芸も好まれるようなので、今後は手芸の余暇支援にも力を入れていきたいです。

(支援員 清水 夏希)



ソーシャルワーク実習

新型コロナウイルスのため受け入れを中止していた、熊本学園大学からのソーシャルワーク実習を、抗原検査等の感染予防をした上で、3年ぶりに実施しました。実習生の2人にインタビューしました。



①自己紹介をしてください。

城野: 熊本学園大学第一部社会福祉学科3年の城野麻理亜です。

加藤: 熊本学園大学福祉環境学科3年の加藤大地です。

②実習でどんなことをしていますか。

城野: 実習では、ご本人の希望や目標を踏まえた「個別支援計画」の作成技術を身に付けることを目標に、障がいをお持ちの方々とコミュニケーションの取り方や、利用者の方々がその人らしい生活を送るために、施設ではどのような支援が行われているのかについて学んでいます。

加藤: 社会福祉士の役割や他機関との連携や、利用者の方が日々の生活をおくるなかで重要なこと何なのかを学んでいます。

③実習を通して学んだことを教えてください。

城野: 実習を通して、利用者の方々の特性は一人おひとり異なるため、実際にコミュニケーションを取りながらその方について知ることが重要だと分かりました。一口に知的障がいと言っても、人によって大きく異なります。座学で得た知識を活かすだけでなく、実際に関わりながらその方の特性や強みを見つけることでより良い支援が提供できるのだと学びました。

加藤: 相手への配慮を忘れずにコミュニケーションを取ることで、情報を職員同士で共有することの重要性について知ることが出来ました。

④実習の感想を教えてください

城野: 私は初めての实習ということもあり、利用者の方々とうまくコミュニケーションを取ることができず不安でしたが、みなさんが温かく私たち実習生を受け入れてくださったおかげで安心して楽しく実習を行うことができました。利用者の方々はもちろん、職員の方々も明るく笑顔にあふれていて、「サニーサイド」の名の通り、隠れみのりのような温かさを感じました。今回の実習で得た学びを今後活かしていけるよう頑張ります。

加藤: 性格や個性は一人一人違うので、同じように支援をしても同じ結果にはならないことを知ることが出来ました。座学で得られるものと、体験して得られるもの、双方が大切だと感じました。

新任職員の皆さんにインタビュー！

現在の仕事内容は、口腔ケア、利用者の食事観察（食量、食形態が適切か）、厨房業務の委託業者の淀川食品様との連絡、調整などを行っています。また、利用者の方々の生活の状況を把握するため日々のコミュニケーションを図っています。

苦労したことは、変化する利用者の方の状態に合わせて、食形態や食量を変更することです。変更するためには、支援会議やご家族への連絡を行います。その際、他職種である支援員や看護師、ご家族との連携の難しさと大切さを感じました。支援会議の際は、根拠のある資料を集め配布するなど、連携がスムーズにいくよう心掛けています。

今後取り組みたいことは、栄養面の見直しです。来年度から変更できるように準備をしていきます。

(管理栄養士 大森 清稀)



現在は施設利用者様の生活に必要な介助、日中の創作活動や運動レクリエーションの支援を主にしています。

自分の気持ちを言葉で伝えることが困難な方もおり、利用者様の思いを汲み取ることが難しいと感じることが多々あります。そんな時は先輩職員にアドバイスをいただき、実践することで解決へと繋がっています。これを日々続けることで、利用者様も心を開いて自らコミュニケーションを取ってくださるようになり、たくさんの笑顔に触れることができています。

これからも利用者様の思いを第一に真摯な気持ちで支援を行い、たくさんの笑顔に触れることができるように頑張りたいと思います。

(支援員 中村 元貴)



現在、利用者の方々の日常生活の支援や、創作活動や運動等の日中活動の提供を担当しています。

苦労したことは、利用者の方とのコミュニケーションです。言葉だけでコミュニケーションを図ることが難しく、試行錯誤しながら支援に取り組んでいました。そのような中で、「口から発する言葉だけが、コミュニケーションである」という考えを持っていることに気付きました。そこで、言葉だけでなく身振り手振りをすることで、より深いコミュニケーションを図ることができていると感じています。その他にもコミュニケーションを図る手段はないかを考えながら、支援に励んでいます。

今後は、利用者の方々の安全を守りながら、楽しんで過ごして頂ける支援が出来るようになります。

(支援員 齊田 璃乃)



夏満喫！！納涼祭

今年の夏も猛暑続きで暑かったですね。数年ぶりに夏祭りや花火大会が開催された自治体もあったと思いますが、読者の皆さんは行かれましたか。サニーサイドでも、暑さを吹き飛ばそうと今年も納涼祭を開催しました。昨年度より縁日の数を増やしたり、飾り付けを豪華にしだりと盛り上げるために工夫しました。夜に行う花火大会も、例年より花火の数を増やしたので、迫力ある物になりました。「花火綺麗だね」と言ったり、くじ引きの景品のコップを利用者さん同士で見せ合ったりして、利用者の皆さん楽しんでいました。



夏の風物詩企画★

七夕会

7月沢山の願いを込めて短冊書きや飾り付けを行いました。



土用の丑の日

土用の丑の日と言えば「鰻」ですね。美味しい鰻の蒲焼きに舌鼓を打ちました。



かき氷パーティー

利用者の皆さんの中にはシロップを1つに選べ切らずに複数のシロップをかける方が印象的でした。



※サニーサイドでは、法人ホームページ上にもスタッフブログを掲載しています。是非、ご覧ください。

アール・ブリュット活動報告

『お菓子の香梅展示について』

7/8(金)～7/21(木)にかけて、お菓子の香梅帯山店のドゥ・アート・スペースをお借りして「サニーサイドの画家たちVol.2」を開催しました。今回は2週間の開催でしたが、「どの絵も素敵で飾りたい！」や「絵を眺めて気持ちが和みました」等の感想を多く頂戴し、利用者の作品から伝わるものを、観る方それぞれに感じていただけたようでした。次回は来年8月、光の森店での開催を予定しています。楽しみにお待ちしております。

『作品出展について』

今年もまだまだ作品展が目白押しで、11月には「アールブリュット展覧会Vol.8」「くまもとハートウィーク展覧会」が控えています。どちらも熊本市内の美術館での開催が予定されており、利用者の新作の絵画作品をより多くお披露目できるよう随時準備を進めています。アールブリュット展覧会では出展施設がそれぞれ制作しているアートグッズが数多く販売され、サニーサイドからも関連グッズをたくさん販売する予定です。ぜひ一度足を運んでみてください。

『カレンダーについてのお知らせ』

この度、利用者の絵画でデザインされた卓上カレンダーを作成しています。普段の絵画への取り組みをより多く知ってもらいたい、という想いを込めて、絵の配置や構成にもこだわりました。より多くの方にお渡しできるよう、現在計画中です！

(主任 大森 天登武)



ドゥ・アート・スペース お菓子の香梅帯山店



普段の活動風景。一心不乱に色をかさねます

オンライン研修を受講して ～管理者研修～

今回の研修を受けて、労務管理や経営の事など今まであまり関わっていなかった所を学ぶ良い機会になりました。自分自身のキャリアを考える良い機会にもなりましたが、特に職員育成についてより学ぶことが出来ました。

今まで人事考課で評価する際に、指摘をする事はなかなか抵抗がありましたが、育成が目的であると言う事を学び、人事考課での評価や指摘は、やはり大事な事だと感じました。これからも職員一人ひとりの立場を尊重しながら適切な評価を行い、フィードバックしていくとともに、一人ひとりの良い点に積極的に目を向け、評価が出来るようになりたいと思います。また、後輩から信頼されるリーダーになれるよう、これからも頑張っていきたいと思えます。

(係長 島津 幸子)



オンラインで研修を受けている様子



皆さんサニーサイドへようこそ！

新たにサニーサイドをご利用される方のご紹介をさせていただきます。これからよろしくお願い致します。



お名前：甲斐 文子 様
ご利用中のサービス
施設入所、生活介護
(7月よりご利用を開始されています)

育児休暇中の職員が赤ちゃんを連れて遊びに来てくれました！2人とも、と～っても可愛いですね(*^^*)



大友さんご家族



麻生さんと職員



イベント予定&お知らせ

□年度内のイベント予定

- 10月 ベタンク大会、ハロウィン
- 11月 秋まつり(施設内イベントとして開催)
- 12月 クリスマス会、忘年会
- 1月 新年会
- 2月 節分会
- 3月 ひな祭り

※利用者の方が参加される施設内のイベントは開催予定です。

お知らせ

～2021年度決算について～

2021年度決算は当法人ホームページの情報公開ページに掲載しております。

<https://sunny-side.or.jp/disclosure>

～編集後記～

みなさん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。朝夕は涼しくなり、だいぶ秋めいてきましたね。お芋や梨など旬の美味しいものが沢山あるので、「食べ過ぎないように気を付けなければ…!」と思う毎日です。それでは、編集後記として、広報委員会のメンバーに『この秋楽しみにしていること』について語ってもらいます。



秋といえば・・・“食欲の秋”です。楽しみなのは、秋刀魚の塩焼きが美味しいシーズンになることです。秋刀魚の苦みのある部分は大人になると不思議と食べることが出来ますよね。利用者の皆さんにも秋で楽しみにしていることを伺いたかったです。(河野)



この秋、楽しみにしていることは、サニーサイド秋まつり！今年も施設内イベントとして開催します。秋まつりの担当になったので、利用者の方が楽しめる様々な企画を考えています！あと、涼しくなってきたので、愛犬とたくさん散歩して、色々な景色を見たいです。(清水)



ワークセンター販売情報

ワークセンターでは、『ハーブと雑貨とアロマの店 コパン』という名称で、当事業所で生産している自家栽培ハーブ製品やアロマ製品を昨年度からネットショップ「minne(ミンネ)」にて販売をしています。今年度、新たな取り組みとして、Instagramと連携しながら販売できる「BASE(ベース)」に新しくショップをオープンしました。Instagramの投稿から商品を購入することができるようページ作成作業中ですので、是非Instagramのアカウントをお持ちの方はフォローをお願いします。

また、コロナ禍が続く中、マルシェや販売会には参加できない状態が続いていますので、委託販売を始め、全国の障がい福祉事業所の商品を集めたセレクトショップ「UMU(ウーム)」様と7月に立田口駅前オープンしたハーブの専門店「moicomodo(モアコモド)」様で商品を販売しています。どちらのお店も明るく、素敵な店主様がこだわりの商品を販売されています。県内のマルシェや様々な販売会で出店もされていますので、お立ち寄りください。これからも、様々な方に商品を手に取っていただけるよう商品開発、安心安全な製品作り、広報活動に取り組んでいきます。

(課長 村上 美保)



「UMU」
(ハーブティ/プラ板パッチ)
熊本市中央区南坪井1-17



「moicomodo」
(ハーブティー)
熊本市東区龍田坪内1-1-105

ハーブと雑貨とアロマの店「コパン」
Instagram copain.sw

ネットショップ
minne <https://minne.com/@copain-ss>
BASE <https://copainsunny.base.shop/>

